

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376300238
事業所名	グループホーム設楽の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 小学校からは今年も日本茶と絵手紙が届いています。子どもが一生懸命育てたお茶は利用者とは難く味わい、また鮮やかな絵手紙は玄関に貼り出しています。時節柄、名産の五平餅を振るうというわけにはいきませんが、町内皆家族のようで、茄子やキュウリ、時には大玉の西瓜が持ち込まれるほか、散歩では「きれいだね」「もってってえ～」と季節の花々を日々譲ってもらえています。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 4月のみ書面開催としましたが、そのほかは隔月で参会できています。ただし、時間短縮とともに、利用者とは職員は基本欠席として安全を図っています。川釣り客の駐車マナーについては此処数年の懸案でしたが、運営推進会議の議題にあがったことで町や漁業組合の理解が進み、本年はカラーコーンが置かれるなどいち早い対策があり、トラブルなくシーズンを終えています。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 設楽町は「人に優しい街づくり条例」が敷かれており、行政も町民に大変親身です。事業所でも日頃の感謝も込めてドクターヘリが離発着するスペースの鍵管理を無償でおこなっています。管理者はじめ職員はヘリコプターの音がする度に、「来るのか？」ドキリとするものの、町の一員としての役割が果たせていることに自負をもち、協力を勤しんでいます。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 利用者とそのキーパーソンで50名を超える人の希望に応えることは容易ではありませんが、管理者の柔軟な対応で利用者の生活は安定しています。例えば本人は車いすです自走したいが、家族は歩行器で歩いて欲しいとのケースでは、本人の意向をおもんばかりつつ「いい季節になったね、外歩きは気持ちいいと思うよ」といったアプローチを根気よく重ねています。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	○	○	○	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								